

# 水産の窓

黒潮の著しい流路変動により水温は高め基調へ変化  
(平成22年12月の海況と今後の予測)

22年-No.37  
平成22年12月21日  
茨城県水産試験場

## 1. 本県周辺海域の概況(12月上旬)

- ・今月の海況の概要は図1のとおりです。
- ・冷水域の南端は北緯40度, 東経143度付近に位置していると推測され, 本県海域には達していません。
- ・三陸の沖合域に暖水塊が停滞しています。
- ・12/16日現在, 黒潮の流型はC型で, 伊豆諸島周辺で蛇行して, 犬吠埼の南東45マイル付近を北東方向へ流去しています。

## 2. 海洋観測結果(11/30~12/15:ときわ, 塩屋埼定線は福島県水産試験場による)

- ・水温を図2~図5に, 水温前月差を図6~図7に, 平年偏差を図8に, 塩分濃度を図9に示しました。
- ・北部海域の水温を前月と比べると, 表層域を中心に概ね降温しましたが, 下層域では概ね昇温しました(図12, 13)。
- ・北部海域の水温を平年と比べると, 全層で高め基調となりました(図14, 15)。これは, 10月下旬~11月に発生した黒潮の流路変動時に波及した暖水の影響が残っているためと考えられます。
- ・北部海域の塩分濃度は, 34.0PSU以上が広く分布し, 沿岸域では前月より濃度が高くなりました(図16, 17)。

## 3. 今後の1カ月の見通し

- ・黒潮の流路は, 蛇行部が東進して犬吠埼の東の海域に抜けるでしょう。流型はN型流路に変化するでしょう。
- ・沿岸域への黒潮系暖水の波及は徐々に弱くなるでしょう。北方からの急激な冷水の波及もみられないでしょう。
- ・季節的に気温が下がることから, 表層域の水温は降温し鉛直混合が活発になるでしょう。ただし, 気温は平年より高めで推移すると予測されるため, 平年と比べると高めで推移するでしょう。
- ・水温を平年と比べると, 概ね「平年並み~高め」で推移するでしょう。

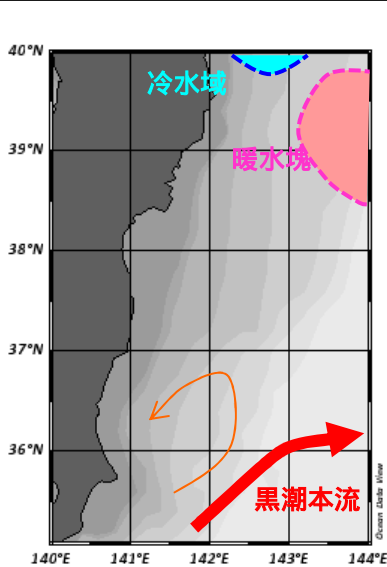


図1 海況の概要

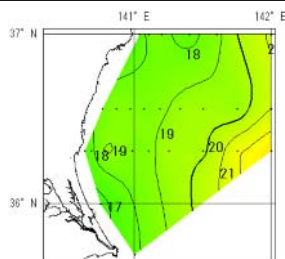


図2 海面水温( )

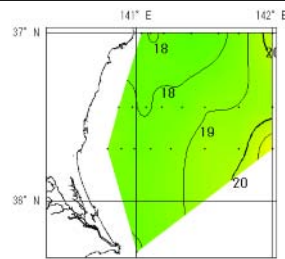


図3 50m深水温( )

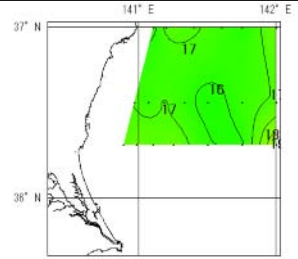


図4 100m深水温( )

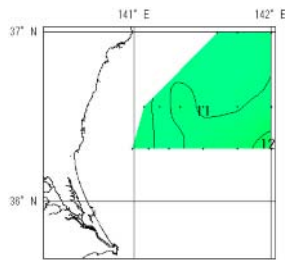


図5 200m深水温( )

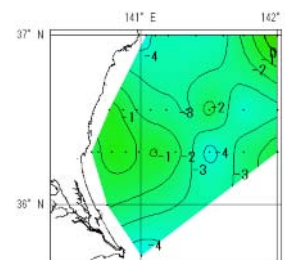


図6 海面水温前月差( )

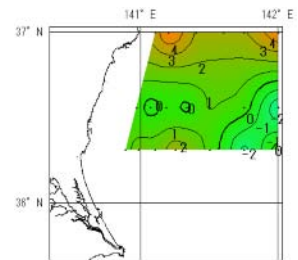


図7 100m深水温前月差( )

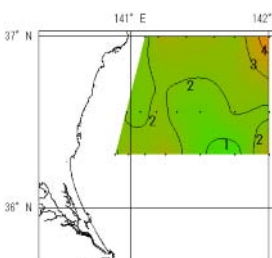


図8 100m水温偏差( )

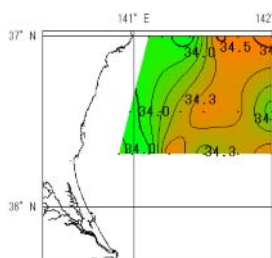


図9 100m深塩分(PSU)

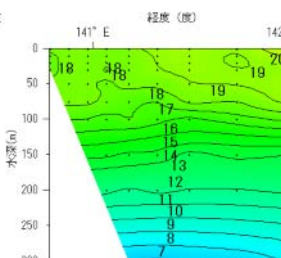


図10 会瀬沖鉛直水温

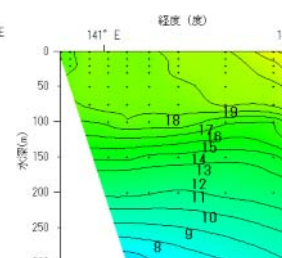


図11 大洗沖鉛直水温

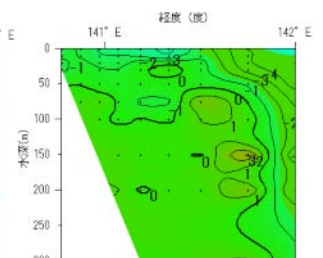


図12 会瀬沖鉛直水温前月差

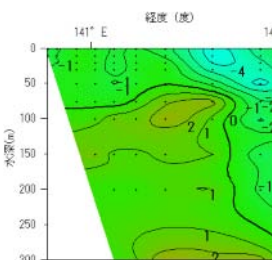


図13 大洗沖鉛直水温前月差

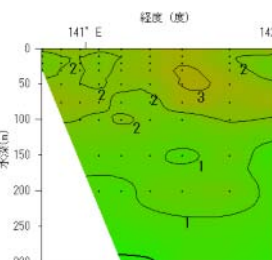


図14 会瀬沖鉛直水温偏差

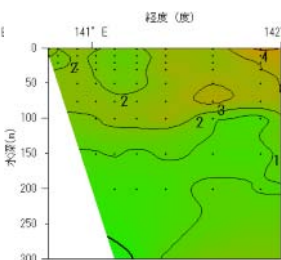


図15 大洗沖鉛直水温偏差

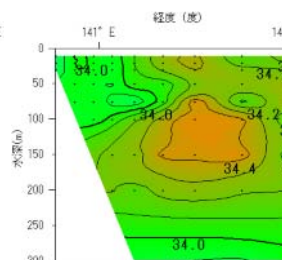


図16 会瀬沖鉛直塩分

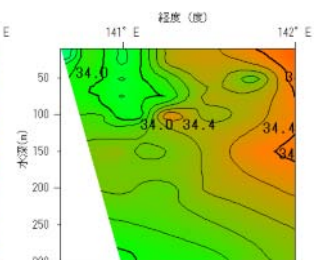


図17 大洗沖鉛直塩分